

- 1 下地調整（凹凸、目地にパテ処理を行い、平滑にする）
  - (1) プラスターボード（石膏ボード）の場合  
ビニールクロスと同様の下処理をして下さい。ネジ・釘が錆びる場合は錆止め処理をして下さい。
  - (2) ベニヤ・合板等の場合  
ネジ・釘が錆びる場合は錆止め処理をする。また、灰汁の出る可能性が高いのでシーラー処理を行って下さい。
  - (3) モルタルの場合  
糊の吸い込みが有りますので、下地への吸収と接着の均一化を図る為、必ずシーラー処理を行って下さい。
  - (4) 特殊・リフォーム張替の場合  
プロの施工業者にお問い合わせ下さい。（現場での確認が必要です）

- 2 糊付け、オープンタイム
  - (1) 接着剤は、一般ビニールクロス壁紙用の接着剤にて施工して下さい。
  - (2) 糊付機で糊付けと同時に両端をスリッター（巾断ち機）でカットして下さい。
  - (3) オープンタイムは糊付け後、商品の特性と季節によっても差が有りますが、2～5分乃至5～10分程度経過してから貼付け作業を開始して下さい。  
和紙壁紙ですので、透過性・透湿性等があり、糊の乾燥が速いため、付け留めは出来ません。長時間置くと相剥ぎや目スキの原因となります。なお、表示のオープンタイムはあくまでも目安です。現場状況を確認して頂き施工の程お願い致します。
  - (4) 糊付け後は折りジワ等が付かないように大きくたたみ、何枚も重ねない様にして下さい。

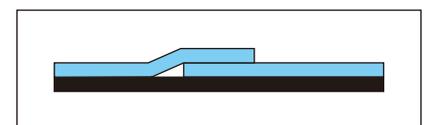
- 3 施工
  - (1) ジョイントのローラー掛けは、当て紙をしてはみ出た糊が付かない様にし、ローラーは余り強く押さえつけない様に注意して下さい。
  - (2) 撫で付けは撫刷毛で行い上下に動かし、あまり左右に動かさない様にして下さい。（※左右に動かすと壁紙が横に伸びる為）
  - (3) 表面に付着した糊は、タオルに十分水を含ませ絞ってから軽く叩く様に取り除き、乾いたタオルで水分を取って下さい。
  - (4) 自然素材である為、左右の色が異なる場合があります。左右を反転させるリバース貼り（天地逆貼り）で綺麗に仕上げられます。
  - (5) エアコン等で急激な温度変化は目地隙の原因になりますので、自然乾燥させて下さい。

#### 4 ジョイント部

- (1) 重ね貼りジョイントの場合  
重ねしろは三分重ね（約9mm以上）をお奨めします。
- (2) 重ね切りジョイントの場合

ビニールクロスと同じ施工の重ね切りジョイントの場合、状況や環境に応じて目隙が生じる場合もありますので、ご注意下さい。重ね切りジョイントを行う際は、和紙テープをジョイントの間に入れる事によって、互いに引っ張り合い、目隙が出るのを抑制する事が出来ます。

(1) ↓9mm 以上程度重ねる



(2) ↓和紙テープをジョイント下に入れる

